

彩・創造

第56号

# はあもにいい

## 第24回通常総会を開催!!

令和元年6月25日(火)に「ベルヴィ 大宮サンパレス/GLANZ」(さいたま市)において第24回通常総会を開催いたしました。

### 第1部 通常総会

7会員、8名の参加と本会参与の埼玉県産業労働部産業支援課より 倉林主事、一般社団法人埼玉県商工会議所連合会より 桐ヶ谷常務理事、埼玉県中小企業団体中央会より 飯塚専務理事にご臨席賜りました。

本会、森会長の挨拶の後、同氏が議長に選任され、第1号議案「平成30年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「(平成31) 令和元年度事業計画(案) 及び収支予算(案) 並びに会費の額と納入方法決定の件」、第3号議案「会則変更の件(相談役の設置)」、第4号議案「任期満了に伴う役員選任の件」が上程され、審議をしたところ、全ての議案が可決承認されました。

なお、新たに理事 矢野 剛、吉田幸司、監事に

黒澤 久、森 豊次がそれぞれ就任いたしました。会長及び副会長については、会長に河井眞一(春日部市豊野工業団地協同組合)、副会長に矢野 剛(川口新郷工業団地協同組合)が就任いたしました。

また、新たに設置した相談役には、石川義明(川口新郷工業団地協同組合)が就任いたしました。

### 第2部 講演会

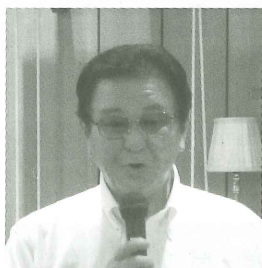
総会に引き続き、講演会を二部構成で開催し、第一部として「ジェットロ埼玉貿易情報センターの設置について」をテーマに、埼玉県産業労働部 企業立地課 国際経済担当 関根寛之氏を講師に迎えて講演会を行いました。

埼玉県はこのほど、本年11月にジェットロ埼玉貿易情報センターを設置することとなり、「埼玉の強みを活かしながら、国内外の需要を開拓し取り組むことで、産業の創出・振興を図る考えのもと、①先端産業分野の販路開拓支援、②外資企業誘致・地域間連携の促進、③県産農産物・加工品の輸出拡大支援、④中堅・中小企業の海外転換支援推進していく。」とのことで、今年3月、ジェットロに対して要望書を提出していました。これに対してジェットロから、「埼玉県との連携を緊密化し、地域ニーズに適した事業を行うことで、地方創生や地域経済活性化に資する具体的な成果を創出していく。」との回答を得て、県は今年の11月のセンター開設に向けて事前ピーアールを行い、県内事業者からの活用相談等を通じて事業展開などを詰めていきたいとのことでした。

第二部として「経営革新計画承認制度について」をテーマに、埼玉県産業労働部 産業支援課 経営革新支援担当 倉林雅人氏を講師に迎えて講演会を行いました。



挨拶をする森会長



河井新会長

### 令和元年度 役員

会長	河井 眞一	春日部市豊野工業団地協同組合
副会長	矢野 剛	川口新郷工業団地協同組合
理事	矢野 泰三	春日部市豊野工業団地協同組合
理事	吉田 幸司	鴻巣市異業種交流会
監事	黒澤 久	上尾ものづくり協同組合
監事	森 豊次	鴻巣市異業種交流会
相談役	石川 義明	川口新郷工業団地協同組合



埼玉県は、県内中小企業者に経営実績の向上に有効な手段として「経営革新計画承認制度」を推進している、これまでの累計承認件数は全国上位であるものの県内企業の割合はまだ低く、より多くの中小企業へ経営革新計画の策定を促して県内企業の生産性の向上を図っていくため一層の制度普及に努めています。具体的には4事例をもとに、それぞれ自社の現状・経営課題を確認、3～5年程度の新たな取り組み計画、同時に相当程度の向上（付加価値率9～15%、経常利益伸び率3～5%）を盛り込んで取り組んだことで、①計画目標の具体化と目標との修正、②経営者・従業員の意識の向上及び一体化に成果を得ることができたなど、これから取り組まれる企業には、本制度を活用し更なる成長に繋げていただきたいとして講演会は終了しました。



講師の関根氏



講師の倉林氏



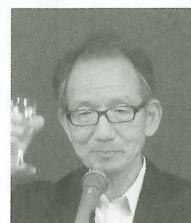
講演会

### 第3部 交流懇親会

講演会終了後の交流懇親会では、本総会で就任した河井新会長の挨拶の後、埼玉県中小企業団体中央会の飯塚専務理事より乾杯のご発声をいただき、和やかな雰囲気の中、情報交換等が行われ、今年も新たな会員を加えてにぎやかな協議会活動になることを期待するなどの意見もいただきました。最後に矢野副会長の締めのご挨拶をいただき、交流懇親会は盛況裡に終了しました。



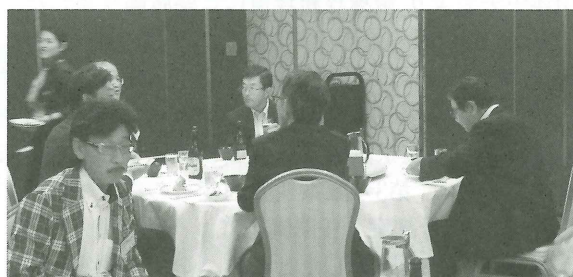
就任の挨拶をする  
河井会長



乾杯の発声をする  
飯塚専務理事



締めの挨拶をする  
矢野副会長



交流懇親

## 千葉県の広域交流会に参加 !!

令和元年11月22日(金)、ホテルグリーンタワー幕張(千葉市)において、千葉県異業種交流融合協議会、埼玉県創造的異業種交流会及び東京異業種交流グループ連絡協議会の1都2県合同の広域交流大会が開催され参加しました。

今年は、千葉県異業種融合化協議会及び千葉県中小企業団体中央会の共催事業（中小企業連携促進大会・ものづくり成果事例発表会）として開催され、東京都異業種交流グループ連絡協議会及び本会が参加する形式となりました。

開会に当たり、千葉県中小企業団体中央会の今関光俊専務理事より挨拶の後、基調講演、パネルディスカッション、ものづくり成果事例発表会並びに展示会・商談・交流会が行われました。

### 第1部 基調講演

まず、立教大学経済学部名誉教授 山口義行氏より「日本経済の動向と中小企業経営～経営者はいま何をなすべきか～」というテーマで講演されました。同氏は国内各地で講演活動をする中、中小企業支援の専門家と経営者が接触する機会を増やし、専門家もネットワークを組んで企業支援に当たろうという思いで、11年前に「Small Sun」という会員制の組織を立ち上げ、現在1,600人の中小企業経営者が所属しています。活動内容は、景気情勢の分析をはじめ経



営実践事例、ノウハウの紹介・提供ほか、国内各地の会員で経営者自身が運営するゼミでの勉強会・個別相談会も実施するなど、中小企業の社会的地位の向上のために活動しております。

特に、今日の激動の時代の中を生き抜くためには、次の3つの能力を高める努力が必要となります。①読む能力…経済、時代の流れ、経営環境、景気の流れを読むことで自社を取り巻く状況をしっかり見ること、②問う力…日常の経営においても経営者は常に“これでいいのか”と自社の製品、自社の存在価値を問うこと、③つなぐ力…社長は自社に無いところを他社と連携して“つなぐ”ことで新たに価値を生むこと。今こそ中小企業経営者は危機感をもって、3つの力を高めて昨年の後半ごろから始まった世界経済の変化の影響に対応してもらいたいとのことでした。

また、京都府宇治市に本社を構えるHILLTOP株式会社は、独自開発のシステムで機械加工を365日24時間無人で行なう夢工場とのことで、人手不足が叫ばれる昨今、多くの応募者が集まる魅力的な企業。フレキシビリティ、スピーディーをモットーに、これまでにNASA、ディズニー、ウーバーなど約3,000社を超える取引実績があり、実に、20%を超える利益率を確保しています。社長は、利益率の高い仕事を受けているのではなく、利益にならない仕事も意識して受けて、売上の5%は社員の技術力アップに繋がるように充てているとのことで、常に問題意識を持った経営者だとのことでした。



会場



千葉県中央会の  
今関専務理事



講師の山口義行名誉教授

## 第2部 パネルディスカッション

続いて、山口名誉教授をコーディネータとして、千葉県異業種交流融合化協議会 株式会社リージック 松延社長、しのはらプレスサービス株式会社篠原社長及び株式会社菊池鋼板興業 菊池社長の3人が登壇し、各社における事業概要を紹介後に人材の確保、ジョブローテーション及び顧客の作り方（顧客創造）等について、それぞれの対応の仕方などが披露されました。



パネルディスカッション

## 第3部 ものづくり補助金成果事例発表

国の平成24年度補正予算から継続の同補助事業で採択された千葉県内の中小企業で、東商ゴム工業株式会社及び株式会社レジナの2社の社長が登壇し、それぞれ補助金を活用して新たな製品（商品）を開発するまでの経営者の取り組み方をはじめ、販路開拓とともに将来への企業価値の高め方などについて発表されました。



東商ゴム工業(株)末永社長



(株)レジナ 土田社長

## 展示会・商談コーナー・全体交流会

別会場では、成果事例発表企業をはじめ、展示会・商談コーナー等が同時に開催され、それぞれの開発成果品等について個別に懇談が行われ、盛況裡に終了しました。



展示会・商談コーナー



## ① 令和元年度「彩の国工場」に18工場が指定されました

今年度の「彩の国工場」指定式が指定企業代表者を招いて、11月21日(木)知事公館大会議室で開催されました。

「彩の国工場」とは、地域に開かれ、地域に愛される工場づくりを進めるため、技術力や環境面で優れている県内工場を、知事が県のパートナーとして指定するものです。

今年度は、18工場を指定し、合計で628の県内工場が「彩の国工場」として指定されています。指定工場には、工場見学の受け入れなど地域の人々が「ものづくり」に親しみを増すような活動をお願いしています。

県のホームページにて今年度の指定企業一覧などの詳細を掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0803/a14.html>



令和元年度「彩の国工場」指定式の様子

**お問い合わせ** 埼玉県庁 産業労働部 産業支援課 技術支援担当  
TEL 048-830-3777

## ② 「彩の国ビジネスアリーナ2020」を開催します

「新時代を彩る、埼玉の技術力！」をテーマに、中小企業の優れた技術・製品・サービスが集結する展示商談会を開催します。

特別企画展示コーナー「ロボット」では、製造現場において活躍する産業用ロボットを稼働させた展示を企画しています。

当日は、経営に役立つ講演会や同時開催のイベントもありますので、是非御来場ください。

- 日時 1月29日(水)10時～18時  
1月30日(木)10時～17時
- 場所 さいたまスーパーアリーナ
- ホームページ <http://bizmatch.saitama-j.or.jp/>
- 同時開催イベント  
産学連携フェア、彩の国ベンチャーマーケット、  
埼玉県ビジネス懇談会
- 昨年の開催実績
  - ・出展企業・団体数 614企業・団体(772小間)
  - ・来場者数 17,192人
  - ・商談件数 2,447件



「彩の国ビジネスアリーナ2019」の様子

**お問い合わせ** 埼玉県産業振興公社 取引振興部 取引支援グループ  
TEL 048-647-4086

埼玉県庁 産業労働部 産業支援課 経営革新支援担当  
TEL 048-830-3910